

●チェック欄記入要領・・・該当項目に☑。該当しない項目は斜線/してください。

| 審査事項 | 審査内容 | チェック |
|------|--|------|
| 表紙 | ○期間、第△回分の記載はあるか。 | |
| | ○公職の候補者、出納責任者の氏名住所の記載及び出納責任者の押印はあるか。 | |
| | ○選挙運動用収支合計額は、各明細の合計と一致しているか。 | |
| | ○「参考」に公費負担額相当額及び内訳が記載されているか。 | |
| | ○支出の部の総額は、選挙運動費用支出制限額（告示した額）の範囲内か。 | |
| 収入の部 | ○その他収入が自己資金の場合、「備考」=自己資金と記載されているか。 | |
| | ○その他収入が借入金の場合、「備考」=借入金と記載されているか。 | |
| | ○寄附が労務や設備使用等の無償提供である場合、「見積の根拠」にその旨が記載してあるか。また、支出の部と徴難明細書にも同様の記載がしてあるか。また、この場合、収入相当額を金額欄に計上しているか。 (例) 無償労務従事 ○月×日、○月×日の2日間 事務所無償借上げ 10日間 50㎡ 1室 | |
| | ○公費負担額は記載しないこと。 | |
| 支出の部 | ○支出日が告示日よりも前のものを「準備」、告示日以降のものを「運動」としているか。 | |
| | ○選挙運動用自動車のレンタル代、運転手代、燃料代は公費負担の有無にかかわらず記載しないこと。 | |
| | ○供託金は記載しないこと。 | |
| | ○「1 人件費」や「2 家屋費」において、労務や設備使用等の無償提供分が「見積の根拠」に記載してあるか。また、この場合、支出相当額を金額欄に計上しているか。 (例) 無償労務従事 ○月×日、○月×日の2日間 事務所無償借上げ 10日間 50㎡ 1室 | |
| | ○「5 印刷費」にポスター及びビラの印刷費が、公費負担分も含めて記載されているか。その場合、「備考」=公営負担〇〇枚となっているか。 | |
| | ○各項目の「(小計)」、「計(〇件)」が記載されているか。 | |

| 審査事項 | 審査内容 | チェック |
|------|---|------|
| その他 | ○訂正箇所には、出納責任者の訂正印が押してあるか。 | |
| | ○収入と支出は、一致していなくて良い。また、公費負担がある場合、収入よりも支出が多い例もあるので注意。 | |
| 徴難 | ○ポスター及びビラの印刷費が記載されているか(公費負担している場合は必ず記載あり)。この場合、「事情」=公費負担のためとしてあるか。 | |
| 明細書 | ○労務や設備使用等の無償提供分が記載されているか。 | |
| | ○候補者と出納責任者の両方の氏名・住所が記載されているか。 | |
| 領収書 | ○添付されているのは、領収書の写しか(原本は×)。 | |
| | <p>○領収書の名義は、候補者のものか(後援会のは×)。</p> <p>なお、名義は後援会になっているが中身は選挙運動用ということであれば、領収書の写しの余白に次の記載をさせること。</p> <p>(例)「本件については、候補者〇〇〇〇の選挙運動用費用の支出に係るものに相違ありません。 令和6年〇月〇日 出納責任者〇〇〇〇(印)」</p> <p>また、名義が違うものの件数が多い場合は、ホッチキスでまとめ、領収書の写しの1枚目余白に次の記載をさせること。</p> <p>(例)「以下の領収書は、候補者〇〇〇〇の選挙運動用費用の支出に係るものに相違ありません。 令和6年〇月〇日 出納責任者〇〇〇〇(印)」</p> | |